

令和7年度 農業継承者経営発展支援事業 事業計画記載例

申請者	法人名または氏名 ●●●●
	(法人の場合) 代表者職氏名 ●●●●
補助事業者分類 (該当するもの 全てにチェック)	☐ 先代経営者 ☐ 自分が認定農業者 ☒ 継承者 ☒ 先代経営者が認定農業者
継承者の年齢 (令和7年4月1日現在)	●●才
住 所	〒●●●● ●●●●●●●●
電話番号等	固定 ●●●●●●●●
	携帯電話 ●●●●●●●●
	F A X ●●●●●●●●
	メールアドレス ●●●●●●●●
主な品目 (令和6年度)	●●●●●
耕作面積・飼養頭羽数 (延べ・令和6年度)	●●●●● (ha)・ ^a ・m ² ・頭・羽)
補助事業内容 (該当するもの 全てにチェック)	(先代経営者が補助事業申請者の場合) ☒ 経営継承の取り組み (継承者が補助事業申請者の場合) ☐ 経営継承の取り組み ☐ 法人化 ☐ 新たな品種・部門等の導入 ☐ 認証取得 ☐ データ活用経営 ☐ 就業規則の策定 ☐ 経営管理の高度化 ☐ 就業環境の改善

	☐ 外部研修の受講 ☐ 販路開拓 ☐ 新商品開発 ☐ 省力化・業務の効率化、品質の向上 ☐ 規格等の改善 ☐ 防災・減災の導入
具体的な補助事業内容	何をするために、何に経費がかかり、補助を希望するのかを具体的に記載してください。 (例) ・息子に経営を移譲するにあたり、これまでの経営の課題抽出と解決方法を整理したく、中小企業診断士に相談をするためにかかる経費に対し、助成を希望する。 ・●●社との契約出荷のため、J-GAP の認証を取得したく、審査・判定料がかかるため、助成を希望する。 ・雇用の定着と活用を目指し、就業規則を策定したく、社会保険労務士に相談をするためにかかる経費に対し、助成を希望する。 ・労力の軽減を目指し、フレコンバッグによる出荷を行うため、必要な機械設備を導入するための経費に対し、助成を希望する。 ・停電時にも搾乳ができるように、非常用発電機を整備するための経費に対し、助成を希望する。
事業費（見積額）	●●●●円（税別）
事業実施予定時期	令和7年10月
添付する書類	☒参考見積書等金額のわかるもの ☐カタログ等の写し ☒確定申告書 ☐法人登記 ☒位置図 ☒開業届 ☐定款又は規約 ☐その他

事業の効果（※1）	令和6年度	令和8年度（計画）
新規作物の取組 （ ☒ 有）・無）		（新規作物名） ●●●●
耕作面積・飼養頭羽 数（延べ）の増 （ ☒ 有）・無）	●●●● （h a ☒ a m ² ・頭・羽）	●●●● （h a ☒ a m ² ・頭・羽）
収穫量・生産量 の増 （ ☒ 有）・無）	●●●● （k g ☒ t 鉢・本・頭・羽）	●●●● （k g ☒ t 鉢・本・頭・羽）
売上の増 （ ☒ 有）・無）	●●●●千円	●●●●千円
労働力の減（年間） （ ☒ 有）・無）	●●●●時間	●●●●時間
具体的な事業の効果	※これまでの課題や、導入したときの効果等を具体的に記載してください。 （例） ・ J G A P の認証を取得することで、●●との契約が可能となり、売上が増加するとともに、労働安全の確保により事故の未然防止や、適切な土の管理による、持続可能な農業の実践が可能になる。 ・ これまでは、60 キロの米袋で納品していたため、袋代や袋詰めに係る労力が多大であったが、フレコンバッグでの納品が可能となれば、労力の軽減が可能となり、経営面積の拡大が可能となる。	

※1 「有・無」どちらかに○をしてください。すべてが「有」である必要はありません。